静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

6月1日 火曜日
昭和51年（1976年）

昭和49年5月1日第三種郵便物認可

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67-1970清水ゴール
編集専用電話66-5282(代)

毎月1回発行　1部20円

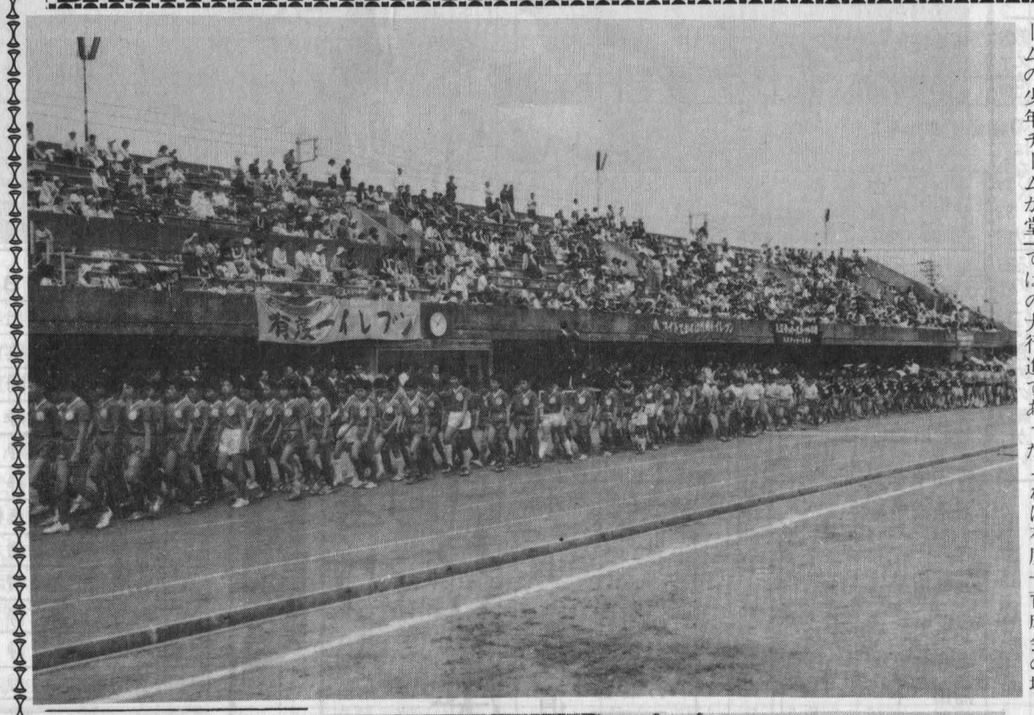
PEPSI

第9回 清水少年少女リーグ開幕！

115チームが参加 四千名の大行進！ 育成会リーグも開会！

五月十六日、二十一発の祝砲の花火を合図に二十三団体一一五チームの少年チームが堂々の入場を展開、参加人員は五千八を数え、サッカー王国清水ならではの大行進であった。

正面スタンドに『祝少年サッカー』と大きく書かれたたれ幕、これは有度一育成会の堤貞夫さんが三日がかりで製作した苦心の作。それにつられてか各チームの横幕が目につく。



"シュートだがんばれ""ファイト"それぞれの団にチーム色をつけて作られたもの。

ブラスバンドは東海一高のメンバー

行進を明るく、リズムをつくってくれたのは東海一高のブラスバンド。指揮は榊原氏。流れる音楽もポピュラーなものばかり、巨人の星やたいやきくんのうたなど、子どもたちにもなじみの多い曲ばかりでのっていた。

日本サッカー協会の役員も見学

前日より技術委員会小中委員会出席のため来静していた平木隆三日本サッカー協会技術指導委員長をはじめ三菱の塩谷氏、ヤマハの杉山氏、四国の田中二氏、国師館大学の沢氏、広島の浜本氏、京都の藤田氏の七名見学、目を見張っていた。

ヨーロッパ遠征記録（完）

帰国後の全国優勝の意義

総監督　堀田哲爾

十三日間に五つの都市を訪ね、十戦そして全勝、人間の限界への挑戦そして達成したときの満足感、われわれ一行はドイツでの日程を終り、イギリスのロンドンに向かった。

FAカップ優勝チーム対イングランドリーグ優勝チーム、ウエストハム対ダビーカウンテーのゲームをウエンブレースタジアムで見学、この試合はフレンドリーチャリティーシールドマッチとして行われている、いわば選手権のかかっていないリーグオープン前の前しょう戦とでもいうゲーム。しかしここでもわれわれは今まで見たこともなかったものにでくわした。

それは観衆の行動であった。若者が自分のひいきチームを気ちがいのごとく声援している姿であった。

全清水の部員にとってこの試合の見学はサッカーのすばらしさと共に、サッカーは自分達だけのものでないことを痛感したと思う。

これは帰国後の全清水メンバーにはっきりと表われた。十三日帰国後、十六日からは全国少年団大会がある。ヨーロッパ遠征で好成績を収めたとあって、全国の対戦相手は常に百パーセント以上の力を出して立ちはだかってきた。しかし全清水メンバーは常に冷静に行動し、自分ひとりよがりのサッカーを決してやらなかった。苦戦はしたものの古河に決勝で勝ち優勝、ヨーロッパでの好成績以上に価値ある優勝であった。

特にわれわれにとってはヨーロッパ遠征によって得たものが帰国後に遠征メンバー個々に出てきたことに非常に喜びを感じた。

その後十二月までに甲府大会、神戸大会、刈谷大会、藤枝大会、清水大会と全国組織で行う招待サッカーに全て優勝、その底力を発揮してくれた。

また個々の団に入っても各チームでエースとして活躍している遠征メンバーを見るにつけ、三年間の苦労を再度十年にのばしてもこの子どもたちが高校生になったとき、再び同メンバーのドイツチームとの対戦を試み、個々の進歩をたしかめたいと思っている。それと同時に次の遠征計画を南米に向け、そこの子どもに負けないチームづくりを今からはじめなければならないと思う。

昭和五十年十二月　完

デラックスなプログラム

今年のプログラムは育成会リーグも入れて二一八ページのすばらしいもの。表紙は小花公生氏デザインの子育て地蔵。この本一冊で日本サッカーの行事から市内サッカーの日程までわかるもの。

手作りの赤い小旗ふってあいさつ

行進してあいさつは、いろいろ。中でも袖師の赤い小旗は女子サッカー部員のつくったもの。三保二も大きな旗を横に持っての大行進風にゆられて旗手はふらふらしながら最後まで持ちつづけていた。

入場大行進！

六年生から一年生、そして女子。ここまではごく普通の入場式である。ところがここもう一つ育成会員の行進。いかにも子どもを育てている組織をあらわしており、どのチームもユニークさを感じる。

ユニークな育成会

清水少年少女リーグ 各チームの特色と指導者

清水少年団

代表指導者鈴木啓一郎

今大会部員一九〇人をかかえ、最大のスケールをほこる清水小の大行進です。

一昨年、昨年と町内別大会で堂々二連覇、リーグ戦、JC大会などすべて上位に顔を出しています。

まず最初に浄見、鍋田君を中心にチームワークのよさをもつ六年生の入場です。今年こそ打倒有度一をめざしてリーグ優勝をねらっております。

次にガッツある五年生の入場です。大塚、佐藤君のポイントゲッターに佐野君の固い守りで他チームをおびやかすことでしょう。

次はがんばりチーム四年生の入場です。昨年はあと一歩の力が足りませんでしたが今年は下平、長谷川君のすばらしいドリブルがずい所にみられることでしょう。

次に元気はつらつ、いたずらっ子三年生の入場です。学校の練習試合では四年生に決して劣らない力をもっています。キック力でずんずんおしこんで試合に勝とうとがんばります。

次は昨年いっしょけんめい一年間サッカーで真黒になった二年生です。今年はたくさんの試合があるので非常に楽しみです。

次に練習でも試合でも最後までがんばる清水っ子になろうとしている一年生です。

次に中村さんを中心によくまとまっている

江尻少年団

指導者　酒井陸夫

少年団の入場行進の少ないのは、第一回から入場行進に大会旗やプラカード持ちの奉仕を行っています。

少年団チームは昨年度東部優勝と王座、全清水に六名を送り出している四年生チームをはじめ三年、二年と優勝をねらっています。

育成会チームは第一回大会一勝を合言葉に結成され、三勝を目標に本年度は五勝を目標に堂々の行進です。

サッカーレディースです。男の子に負けないファイトをもやし続けています。

次はちびっ子サッカーレディースです。よいおねえさん達の指導で毎日少しずつうまくなってきています。

その次は昨年度の父親育成会リーグ優勝のシニア清水とジュニア清水の入場です。毎週木曜日ナイターで汗びしょぬれになるまで練習しております。今年も連続制覇をねらって育成会の貴重な歴史を作ろうと闘志を燃やしております。

有度二少年団

代表指導者　小島　鋼雄

総勢一六〇余名、はるかかなたに富士山をのぞみ、緑に囲まれた中で練習に汗を流して来、精鋭チームである。

昨年度の県大会にはじない成績を納めるよう努力している。

六年は主力である青木、鈴木、柴田の華麗かつダイナミックなプレー、また両ウィングの鋭い動きが見ものです。

五年は春田、丸山のアクロバティックなプレーと小島の小回りのきくドリブルがさえた時シュートが決まります。

四年は佐々木、伊達大川、石川、沼野ら精鋭を主力とし、完璧に近い状態までにゴールを守る奥山がいる限り優勝はまちがいないでしょう。

三年はドリブルを主とし、ウィング攻撃によるシュートは目を見はるものがあります。全体的に小回りのきくチームです。

二年は総勢四十八名だれが十一のポジションを奪うか楽しみです。

育成会チームは昨年度は三勝三敗で四位に終りましたが、今年こそはは、りきっている子どもよりもファイトのあるチームです。

有度一少年団

代表指導者　中島　孝志

昨年度はまさに有度一の年といってよいでしょう。リーグ戦、二年、三年、五年、西部優勝。JC大会二年、三年優勝、五年準優勝をはじめ、種々の大会に数々の優勝をなしとげました。

一年から六年まで部員約一五〇名はゴミ、石ころひとつない整備されたグランドで、着々と有度一時代を築くべく毎日練習を重ねてきました。

子どもばかりではありません。昨年スポーツ祭親子大会県準優勝をなしとげた育成会チームも、今年から二チーム参加を果たし、清水市育成会リーグ育てのチームの名にはじぬよう活躍をし、和気あいあいとした中にもきびしい練習にたえてきました。

有度一の誇りはこうした親子のきずなといっても過言ではありません。

親子ともどもフェアプレーの精神に徹し、清水市のサッカーをリードするよう全力を尽します。

入江少年団

指導者　増田昌弘

五年前の入江の黄金時代の再来をめざして日夜努力しています。

幸い地区あげての組織もできあがり、いよいよこれからです。がんばります。まずは女子だけでなく、六年代表チームで優勝をねらいます。

三保二少年団

指導者　山中寅雄

折戸の浜に悠然と建立した三保二です。紅いもゆるユニホームで昨年初出場しましたが清水のレベルに到達できなく全戦苦しみました。

今年は育成会もできて、低学年も仲間入りさせていただきます。

校庭照明も取り入れ毎夕練習に励んでまいりました。

先輩の各チームに負けじと一、二、三、五六年とフル出場させていただきますので、よろしくお手合わせください。

東海少年団

代表指導者　望月保次

名勝三保の松原と富士山に見守られながら九十名の団員がこのリーグのためにいっしょうけんめい練習しました。歴史の浅い東海少年団ですが、近ごろグーンと実力派になり、好プレーを展開しています。

子どもに負けじと育成会チーム、その名も『サラブレット』は天を駆けるがごとくのいきおいで前進し、第一回リーグにおいては第二位の栄誉にかがやいております。

辻少年団

指導者　小花　公生

団員数　百数十名。二、三、四、五、六年各リーグに参加し常に上位にくいこむ実力派です。

昨年度五年チームは王座を獲得し、本年も優勝をもくろみ、全清水のエース青島、望月川島を中心に活躍を期待されています。

五年生チームも平島井上を中心としたファイトある動きのするどいチームで城之内、朝倉上位進出を望んでいます。

四年も鈴木克利、斉藤を中心とした末たのもしいチーム。

三年は浜本、川口を軸とし楽しめるチーム

二年は楽しみながらがんばらなくっちゃと

いせいのよいチーム。

それぞれ各学年特徴をもった少年団であります。

育成会チームもしろうとではありますが、子どもには負けられないとハッスルし、内田会長を中心に山田氏、長阪氏、大嶽氏を中心に大いに健闘を期待されている。

指導者は各種大会のバッジ、ポスター、プログラムのデザイナー小花公生先生です。

高部少年団

指導者　斉藤　和明

小高い山に囲まれた地区、高部は人口急増により甘ずっぱい夏みかんの花のにおいも消されてしまうほどです。

こんな所に育った子どもですから優雅でしとやかです。プレーそのものがおとなしく、いい成績もあげられませんでしたが、ことしは四年生を中心に少しは「高部ここにあり！」というところを見せたいとがんばっています。

父親チームは小花公生ポイントゲッターを中心にむかしGKだった者が軸になり、ゆったりしたゲーム運びでなんで勝っんだろうと思われるほどです。

今年はなにしろがんばってみます。

庵原少年団

指導者　青山秀司

庵原のお茶とみかんを食べて育った庵原っ子。体は小柄ですがパスワーク中心のチームです。

昨年度の成績は六年優勝、王座五年三位、四年二位、三年四位、二年二位、また県大会では三位でした。

今年はそれを上回わるようがんばります。

編集ノート

四十七年五十一。四十八年六十。四十九年六十五。そして五十年は九十二。五月十六日の日曜に開幕した、第九回清水市少年少女サッカーリーグの参加チームは百十五。四十七年は第五回の参加チーム数である。四、五年前はと下手な原稿をくどくど書くよりも冒頭の数字をお目にかけた方が早いという訳である。すべての協力者に深く敬意を表したい◆五月晴れの日は少なく政局は混迷長期化の様相で迎えた国会閉幕のじめついた世相の中でせめてもの救いは、英国のプロサッカー、マンチェスターの来日。十五連勝の夢は消えたが、巨人の大活躍。両横綱の優勝決定戦で千秋楽を打ち出した、大相撲夏場所。四才の若駒が晴れの栄冠を競う大レース、オークスとダービー。それぞれのファンにはまたとない楽しめた日が、数多くあったことであろう。

（二本木）

第10回 全国少年団大会

県予選会で全清水が三戦完勝！

昨年全国優勝した全清水は五月三日に行われた静岡県予選会で榛原を4対0、藤枝に3対0、決勝志太にも3対0と完勝、全国大会へさい先よいスタートを切った。

本年度全清水強化は鈴木淳、中島孝志両コーチにより育てられた有一、辻、清水の三少年団中心のチーム、他に有二の青木、不二見の糟谷がうまくからみ合い今のところ無失点全国大会での活躍が期待される。

◀写真は藤枝対清水ゴール前の接戦

少年サッカーとチームプレー

やってみせて　言って聞かせてさせて　みて　ほめてやらねば　人はうごかず

今年の少年サッカーリーグは小学一年生のチャイルドから六年生まで、そして女子ジュニアの中にも一年生のかわいらしい女の子が登録されている。そして別の場所ではあるが清水サッカー協会の主催により幼児サッカーが行われている。

いまやゆりかごからサッカーがはじまろうとしているのである。

子どもが小さければ小さいほど指導者は神経を使い育てなければならないと思う。特にこれら幼児に近い年令には決してサッカーを教えるのではなく、サッカーで教える立場をとってほしい。

単に『を』と『で』のちがいであるが、サッカーを教える場合サッカーをプレーすることが最終目的になりがちである。サッカーで学ばせる場合はサッカーを教えながら他の大きな目当てが持てるし見通しのきく指導ができるものである。そしてその結果が学ぶ姿勢ができることだと思う。

押しつけや強制でない意気ごみが生まれるわけである。

この意気ごみをつけるのにはきめの細かい指導が必要である。そしてその基本となるものは、相手が小さければ小さいほどまず指導者がやって見せ、そしていって聞かせる、その後子どもにさせてみる。したことを適確にほめてやる。この指導のスタイルこそ子ども自身が動きだす源となるはずである。

これはシュートのときゴールに入らないことをおこることよりもシュートしたことそのものをほめる方法が進歩へつながるものだと思う。（哲）

清水クラブのOBチーム

西日本OB連盟への参加メンバー決まる！

四十八年度より発足した清水クラブOBチームは本年チーム再編成し西日本OBサッカー連盟に正式に登録された。

元オリンピック代表選手松永信夫氏を筆頭に、全日本都市対抗等で活躍した大谷、望月、佐藤氏等、つわものどもの集まり。登録選手メンバーは次のとおり。

清水クラブOBメンバー　責任者　堀田　哲爾

No.	氏名	出身校	No.	氏名	出身校
1	松永　信夫	教育大	12	内山　清	東大
2	大谷　安夫	関東学	13	勝沢　要	教育大
3	望月　敬治	静大	14	小森　好章	清商
4	鈴木　石根	静大	15	斉藤　和明	静大
5	小島　鋼雄	静大	16	矢沢　秀敏	日体大
6	内山　貫之	藤枝東	17	徳竹礼二郎	日大
7	望月　康弘	清水東	18	長坂　公男	清商
8	大滝　正之	清水東	19	安間　宏	日大
9	堀田　哲爾	静大	20	杉山　亘	専大
10	小花　公生	静大	21	小長井猛男	清商
11	浄見　元紹	静大	22	佐藤　代吉	清水東

全国中学生大会

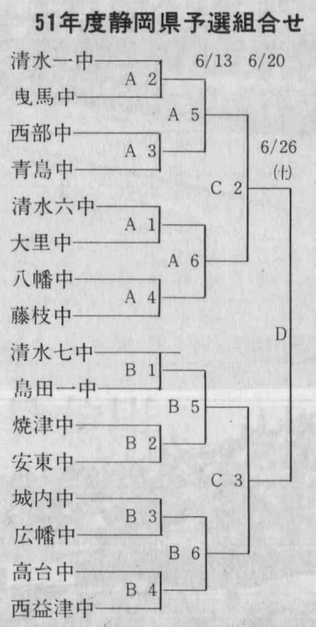
県予選の組合わせ決まる

シード校は清水一中・藤枝・清水七中・西益津

スポーツ祭ベスト16を再度トーナメントで決める方式で、一回戦は六月十三日より行われるが、六月二十六日清水市営で決勝が行われる予定。

組合わせは次の通り。

全国中学生サッカー大会
51年度静岡県予選組合せ



《会場》
A　大里中
B　豊田中
C　青島中
D　清水市営
再試合　豊田中

《キックオフ》
①　9：00～
②　10：10～
③　11：20～
④　12：30～
⑤　13：40～
⑥　15：30～

県スポーツ祭

ボールリフティングの部　優勝者決まる

五月五日清水小学校グランドで行われた県スポーツ祭ボールリフティングの部は三部門六種目によってテストされ、次の入賞者が決まった。

学年	成績	選手名	学校
3.4年	1位	沼野　正善	有度二
	2位	原田　清	江尻
	3位	佐々木健三	有度二
	4位	稲葉　仁記	江尻
5年	1位	長谷川　健	入江
	2位	佐藤　昭宏	清水
	3位	行方　功	清水
6年		青島　秀幸	辻
		久保田信行	辻
		大屋　誠	辻
		望月　和利	辻
		山の口　慎一	入江
		東城　賢一	入江
		水野　英夫	清水
		鍋田　佳孝	清水
		西方　三夫	清水
		北村　豊	清水
	11位	峰山　正美	清水
	12位	稲葉　彰律	江尻

清水少年少女リーグ　チーム紹介

〈一面よりつづき〉

飯田少年団

代表指導者　倉角　至

黄色で統一しました飯田ファイターズ。顧問会、後援会、育成会三部門の充実をはかり"新しい飯田ファイターズ"として発足。指導者不在で二年、あらゆる苦難を乗り越え充実、育成会指導中心のチームであります。

今年度は中河内より倉角先生加入により両者がっちり手を握り、人間形勢を中心に、地域社会より信頼されるスポーツ団体の確立。だれもができるサッカースポーツ意識向上めざして……今後に期待されたい。

子どもたちの健全なる育成を頭に

①規律の充実
②集中力の把握
③正しい友情と勇気
④物を大切にする運動
⑤勝つ力の集積を柱とするチーム

昨年度はJC杯一年団優勝、育成会Bリーグ優勝。本年度はチャイルド部門を中心として全学年あばれまくる飯田ファイターズと一五〇名の選手団を送り、今後の飯田ファイターズにご期待ください。

三保一少年団

代表指導者　高橋増一

三保の松原と富士をあおぎながら育つ大いにがんばっております。

五年生のチームを中心に一丸となって進んでいきたいと思います

浜田少年団

指導者　望月　克真

浜田サッカー少年団発足三年目にして前年度四年生が市リーグに初優勝し、続いて座決定戦ならびにJ杯と三冠王を成し遂げました。

今年は部員も多くなり、総勢八十名を数えることができました。

二年、三年、四年生新チームであり、リーグ戦には初参加ではありますが、新任の望月克真先生の指導によりサッカー少年団です。水はけのよいグランドで汗と砂にまみれながら、チームワークの大切さを身心につけています。

今年は五年のユニホームを新しくしたのをきっかけに六年、四年、五年、女子、四チーム一体となり、昨年以上の成績をのり越えていく『気迫』をもって、上位進出をねらっていきたいと思っています

不二見少年団

指導者　鈴木　淳

過去の戦績は四十九年度は県大会三位、五十年度は六年の部西部リーグ優勝、JC杯優勝に輝いております。

名所日本平と美しい富士をながめて育ったせいか、サッカーもきれいな、優雅なサッカーをいたします。当たりの弱さが多少目につきますが、団員一一〇名という中で、精神的にもきたえられていくと思います。

昨年度は名手、望月達也選手をオール清水に送り出し、数々の立派な成績を収め、それが団員の生きたお手本として残っています。

ますますみがきをかけ"達也につづけ"を合言葉にがんばっております。

今後が大いに期待されるチームです。

岡少年団

代表指導者　初川誠次

マンモス学校に育つフレッシュなチームをめざし、今年は三、四年の強化を中心に、三年後の清水市内優勝をねらいたいと思います

袖師少年団

指導者　加藤　彰久

今年から二年生チームも参加し、赤いユニホームで『赤い旋風』を巻き起こすファイトあるサッカー少年団です。

指導者も揃い今年こそは各学年大いにハッスルすることでしょう

去年は四年生チームが東部JC杯で優勝し今年も五年の優勝を目ざしています。

各学年チームの活躍をご期待ください。

振っている小旗は女子部製作の小旗です。サッカーをやって手先も器用になる一例です

興津少年団

代表指導者　高山　薫

前は清見潟、後はみかん山と恵まれた環境の中で育った興津イレブン。今年は今までになく多くのチームをこのゲームに送ることができました。六年、五年、四年、三年、女子の少年少女六チームに加え、育成会チームも連敗脱出にけんめいです。

中河内少年団

代表指導者　土屋英策

中河内は茶、筍の産地で山に囲まれた非常に生徒の少ない学校です。そのため男女とも連合チームで六年リーグに参加しています。

山間部で、空気や川はほんとうにきれいですので、交歓会、リクリエーションなどに適地ではないかと思います。

生徒全員ものんびりしており、体位はありませんが体力では町の生徒に負けません。

指導者、会員、いっしょうけんめいがんばりますので、よろしくお願いいたします。

小河内少年団

代表指導者　深沢孝俊

今年度から若くてピチピチした石川先生がコーチとしてこられ、毎日きつ～い練習をしております。

去年は興津川リーグで準優勝をし、創立以来初めて上位に入賞しました。

今年で三年目の小河内サッカースポーツ少年団はがんばっております。今年のジュニアに期待がもてます。

声援よろしくお願いします。

駒越少年団

指導者　井川　薫

海の幸、山の幸、恵み豊かな駒越地区にも今年から元気なかけ声が聞こえてきます。

新しく若々しく駒越サッカースポーツ少年団が誕生しました。

元気いっぱいがんばります。よろしくお願いします。

小島少年団

代表指導者　深沢　直

興津川の清流と山の緑に囲まれて育った健全な精神とたくましい身体をもった小島っ子やり始めたらどこまでもとまらない、たくましさをもっています。

キャップテン植田たけひろくんを中心に毎日はげしい練習をつんでいます。

今年こそこの練習の成果を発揮して、すばらしい戦績をあげるでしょう。

西河内少年団

代表指導者　中山雅夫　押見美知枝

興津川の上流から黒いユニホームを着て参加しました。総勢一〇四名。

本年度鈴木石根、中山雅夫両先生をむかえて、ただいま特訓中です。

六年生チームの攻撃力は、キャップテンの岩崎君と、五年全清水キャップテンの大榎の活躍が期待できそうです。

主力を六年チームに吸収された五年チームも丹所を中心にがんばっています。

明るい小鳥のさえずりと緑の木々に囲まれ優しいせせらぎの音をいつも耳にすることのできる山の学校。それが私たちの和田島です。

素直さと明るさと優しさが魅力のチームワークの仲よしの集まりそれが和田島サッカースポーツ少年団です。

今年も全力を尽くしたいと思います。

和田島少年団

代表指導者　飯田昭和

サッカースポーツ少年団最小のチームです。

特に父親の部では育成会リーグの成果が出てきており、素人ばなれしたプレーで有一は久能に13点入れるという最多得点で勝ち、子どもの出る幕もないほど差があった。

決勝は五月三十日焼津にて行われるが久しぶりの清水同士の決勝戦が見られるであろう。

親子サッカー祭

清水勢が上位を独占！

有一、有二、辻と成会リーグ優勝の成果が出チーム参加して行わた県スポーツ祭は有辻、庵原、高部、清の五会場で一、二回戦が行われたが、辻は越、岡部を、有一は能、藤枝を、有二は比、大井川をそれぞシャットアウトで破ぶりの清水同士の決勝青島と佐藤を破った戦が見られるであろう。葉とともに準決勝に出した。

昭和51年度　全清水メンバー246名決まる

小学校3年の部

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	春田　光聡	有度二	28	佐藤　友彦	小河内
2	真田　稚則	〃	29	望月　一仁	東海付
3	高倉　秀彦	〃	30	勝沢　正典	〃
4	吉岡　太平	〃	31	片瀬　恵太	小島
5	石上　聖巳	〃	32	深沢　司	〃
6	太田　宏	有度一	33	望月　恒利	〃
7	宮城島昌史	〃	34	堀池　忠史	〃
8	清　哲也	〃	35	小長井泉志	辻
9	中西　一陽	〃	36	浜本　博也	〃
10	中村　元行	〃	37	川口　よしひろ	〃
11	奥村　幸則	入江	38	青木　勉	清水
12	望月　昭秀	庵原	39	鈴木　堅之	〃
13	柴田　昭	〃	40	中田　茂	〃
14	工藤　泰治	〃	41	小林　久長	〃
15	村野　晃	不二見	42	江尻　篤彦	江尻
16	村野　靖	〃	43	須崎　泰成	〃
17	望月　美輝	〃	44	新村　一重	岡
18	望月　保秀	高部	45	天野　正明	〃
19	池ヶ谷佳男	興津	46	島田　雄志	飯田
20	青木　伸也	〃	47	黒田　誠	〃
21	渡部　義信	〃	48	中西　哲也	〃
22	真田　知幸	西河内	49	望月　聖之	三保二
23	竹沢　和巳	〃	50	高塚　洋	〃
24	清水　進	〃	51	青木　忠義	袖師
25	大沢　友洋	小河内	52	望月　紀昌	〃
26	石田　靖幸	〃	53	梅田　知秀	庵原
27	山本　昭	〃	54	鍵山　禎一	入江

小学校4年の部

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	原田　清	江尻	25	佐々木健三	有度二
2	稲葉　仁紀	〃	26	沼野　正善	〃
3	川口　慎也	〃	27	長沢　光訓	有度一
4	望月　重利	〃	28	村松　孝昭	〃
5	巽　一浩	〃	29	奥山　淳司	〃
6	杉山　広晃	〃	30	生塩　和幸	〃
7	柏原　潤	三保一	31	小山　大	〃
8	世登　泰二	東海付	32	吉原　良太	〃
9	小川　芳徳	不二見	33	藤田　弘和	〃
10	山口　哲也	東海付	34	小花　教義	高部
11	天野　浩明	清水	35	土橋　且明	〃
12	下平　武利	〃	36	福本　真也	飯田
13	大滝　光哉	〃	37	浦山　靖博	入江
14	堀池　倫敬	小河内	38	大石　健司	〃
15	宮城　国男	〃	39	小川　雅巳	浜田
16	神谷　勇光	西河内	40	竹沢　敏彦	岡
17	真田　泰伸	〃	41	平岡　樹頼	袖師
18	浮洲　基弘	興津	42	斉藤　公則	辻
19	手塚　正樹	〃	43	山崎　行雄	〃
20	吉川　友喜	〃	44	小長井光昌	庵原
21	奥山　知信	有度二	45	青木　重樹	〃
22	伊達　倫史	〃	46	西谷　嘉訓	〃
23	石川　博章	〃	47	石川　義明	小島
24	大川　明	〃			

小学校5年の部

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	井上　和彦	辻	22	小林　珠流	庵原
2	城之内　治	〃	23	望月　久資	〃
3	手島　賢二	辻	24	望月　敬之	江尻
4	朝倉　寿章	〃	25	市川　高義	〃
5	川口　雅彦	東海	26	長谷川健太	入江
6	武田　真宜	〃	27	大川　敏生	不二見
7	池松　孔二	〃	28	大塚　昌人	清水
8	松下　明生	有度一	29	佐藤　昭宏	〃
9	金田　正彦	〃	30	佐野　康彦	〃
10	中嶋　丈寿	〃	31	土居　義明	〃
11	塚本　英貴	〃	32	萩原　直樹	小島
12	村上　寛	袖師	33	稲垣　陽一	高部
13	滝　喜文	〃	34	堀池　巧	小河内
14	加藤　房彰	〃	35	酒井　克寿	浜田
15	青木　健樹	飯田	36	朝倉　勉	〃
16	春田　俊之	有度二	37	国持浩太郎	〃
17	松永　幸雄	岡	38	大見　和久	興津
18	芦沢　敏之	〃	39	大榎　克巳	西河内
19	大川　晃広	〃	40	滝　敬道	〃
20	石野　宏幸	三保一	41	丹所　弘	〃
21	小長井恒和	庵原			

小学校6年の部

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	青島　秀幸	辻	13	福地　正博	有度一
2	望月　和利	〃	14	勝亀　信行	〃
3	川島　俊彦	〃	15	堀田　正隆	〃
4	久保田信行	〃	16	植田　雄大	小島
5	大屋　誠	〃	17	山田　智章	清水
6	行徳　浩二	東海	18	鍋田　佳孝	〃
7	柴田　純	有度二	19	浄見　哲士	〃
8	青木　一雄	〃	20	北村　豊	〃
9	鈴木　康史	〃	21	槽屋　幸宏	不二見
10	望月　佳紀	庵原	22	望月　哲也	〃
11	西ヶ谷　直	〃	23	湯山　素	三保一
12	塚本　剛巳	有度一	24	加藤　克巳	入江

中学1年の部

No.	氏名	No.	氏名
1	後藤　義一	15	前沢　克巳
2	加藤　勇	16	中田　勝久
3	佐野　宏光	17	小沢　輝久
4	小林　茂幸	18	川崎　好洋
5	江崎　洋	19	柴田　豊
6	望月　達也	20	西山　由浩
7	反町　康治	21	中場　康雄
8	川村　昭仁	22	牧田　有史
9	佐野　達	23	杉浦　智之
10	深沢　司	24	山田　雄則
11	前沢　孝	25	西山　強
12	山崎　仁史	26	小沼　克寿
13	深沢　将仁	27	杉本　淳
14	山崎　亨	28	杉山　彰

中学2年の部

No.	氏名	No.	氏名
1	内田　一夫	15	高橋　良郎
2	佐藤　誠	16	足立　高浩
3	須崎　正典	17	祢次金義隆
4	村松　康司	18	伊達　芳弘
5	高山　定也	19	奥山　靖司
6	久保田晃弘	20	伴野　精男
7	風村　真伸	21	熊沢　達久
8	大木　利彦	22	川端　好昭
9	小沢　徹真	23	服部　学
10	稲岡　隆博	24	斉藤　達也
11	渡辺　裕久	25	西ヶ谷和幸
12	新山　金也	26	遠藤　重則
13	山田　蔵夫	27	植田　新悟
14	荒木　俊彦		

中学3年の部

No.	氏名	No.	氏名
1	岩石　恒典	12	遠藤　友則
2	大木　武	13	高田　康正
3	風間　八宏	14	杉山　耕二
4	中村　栄	15	藤森　邦夫
5	牧田　一成	16	水谷　克己
6	片瀬　剛	17	宗野　英之
7	外岡　哲	18	池田　晃一
8	山本　薫	19	西子　和宏
9	高橋　亨	20	西ヶ谷雅彦
10	寺内　誠一	21	片平　勝也
11	鎌田　敏宏	22	深沢　卓司